

白石町長  
コラム  
Vol.114

# 「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)  
進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって  
「理想」を創造する

「縁(えにし)が繋ぐ、町の防災」

先般、鳥取県内すべての町村が足並みを揃え、災害時の備蓄箱「G72ボックス」の配備に関する協定を締結しました。発災後、支援が届くまでの「最初の72時間」を支える75品目が詰まったこの箱の導入は、実は、約15年という長い歳月が紡いだ「不思議な縁」から形になったものです。この事業を推進する株式会社コミュニティアル・エイド・セオリーの有馬朱美代表と私の出会いは、私が県職員だった頃に遡ります。当時、東京で平井知事の取材に立ち会った際、記者をされていたのが有馬さんでした。その後、私が江府町の副町長に就任してから、彼女が持つラジオ番組の枠で町のPRに多大なご協力をいただきました。交流が続いてきました。

転機は昨年12月、県町村会の役員視察で千葉県一宮町を訪れた時のことです。馬淵町長から有馬さんの防災活動伺い、点と点が一本の線に繋がりました。かつて共に仕事に取り組んだ彼女が、今、防災のプロとして全国の自治体のために尽力している。そのために驚くと同時に、運命的なものを感じずにはいられません。人との繋がりが、時を経て「町を守る力」に変わる。今回の協定は、まさにそんな「縁の不思議」が手繰り寄せた結果です。この備蓄箱が使われないことが一番ですが、万が一の際、皆様に安心を届けられるよう、これからもあらゆる「ご縁」を大切に、災害に強い町づくりに邁進してまいります。

これまでのコラムはこちら！



これまでのコラムは二次元コードを読み取ることでご覧いただけます。

## 気をつけよう 消費者トラブル

## 不用品の買取りのはずが、貴金属の買取りだった！ ～強引な買取りに注意！きっぱりと断りましょう～

### 相談事例

自宅に買い取り業者から電話があり、「お皿1枚、古着1着でも買い取ります。」と勧誘され、処分したい不用品もあったので、業者の訪問を了承しました。すると、翌日男性二人が訪問してきて「古着のほかに、ネックレスや指輪なども買い取りますよ。鑑定しますよ。」と言われ、つい売るつもりのない指輪等を見せたところ、「ぜひ買い取らせてほしい。」としつこく言われ、5千円で売ってしまいました。やっぱり指輪を返してほしい。

### アドバイス

- 買い取り業者は、貴金属を目当てに訪問してきます。売るつもりのない大切な貴金属は見せず、売りたい商品のみを出しましょう。また、業者が自宅に訪問する際には、一人で対応せず、必ず家族や知人に同席してもらいましょう。不安な場合は、業者に「売らないので帰って。」と伝え、きっぱりと断りましょう。
- 訪問購入に該当する場合、クーリング・オフの対象です。(契約書を受け取ってから8日間)すぐに、クーリング・オフの通知を行い、返品を求め、返金を行いましょ。なお、クーリング・オフ期間は物品を引き渡すのを拒むこともできます。クーリング・オフをしても品物が見つからず返品されない場合もあり、注意が必要です。品物を渡すリスクも十分に考えましょ。

- 消費生活相談員による相談窓口  
令和8年4月15日(水)午前9時～午後4時(毎月第3水曜日)  
場所：江府町役場本庁舎1階相談室  
※日野郡3町は、第1～第3水曜日に輪番で相談員が対応します。
- 通常の相談窓口  
平日：江府町役場住民生活課(電話：0859-75-3223)  
土日：消費者ホットライン「188」(案内に従い、お住まいの郵便番号を押すとお近くの相談窓口につながります)

【消費者ホットライン】188  
局番なしのいやや

